

復興ありがとうホストタウンの推進

～東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～



「復興ありがとうホストタウン」について（2017.9～）

被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体を対象に、震災時に支援してくれた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行い、2020年に向けた交流を行う「復興ありがとうホストタウン」を設置。

○大会参加国・地域の方々との交流

- ・被災時に現場に入って支援してくれた各国のレスキュー隊員や、支援物資等を送ってくれた方々など、復興に貢献いただいた方々を被災地に招いた交流を行う。
- ・交流の機会に復興のプロセスの説明や、各地の被災地ツアーの参加などを行い、被災地の過去と現在の紹介を実施。



2019.11 アルゼンチンのブラインドサッカーチームを福島県広野町に招待し、地元小学生とのスポーツ交流を実施

○大会参加者との交流

- ・大会中は、相手国・地域の選手を応援し、大会後に大会に参加した相手国・地域の選手（オリンピック・パラリンピアン）に訪問してもらう。



2020.2 宮城県気仙沼市で働くインドネシア人実習生と市民が、両国の料理づくりを通じて交流

○日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

- ・従来のホストタウンと同様の取組を実施



2019.12 岩手県山田町の担当者および町内の料理人がオランダの空手選手を訪問し、復興状況発信と食文化交流を実施

【復興ありがとうホストタウン：29件・31自治体】※2020/8/1現在

- ・岩手県；宮古市（シンガポール）、大船渡市（米国）、花巻市（米国・オーストリア）、北上市（セルビア）、久慈市（リトアニア）、陸前高田市（シンガポール）、釜石市（オーストラリア）、二戸市（ガボン）、雫石町（ドイツ）、矢巾町（オーストリア）、大槌町（台湾・サウジアラビア）、山田町（オランダ）、野田村（台湾）
- ・宮城県；仙台市（イタリア）、石巻市（チュニジア）、気仙沼市（インドネシア）、名取市（カナダ）、岩沼市（南アフリカ）、東松島市（デンマーク）、亘理町（イスラエル）、加美町（チリ）
- ・福島県；喜多方市（米国）、二本松市（クウェート）、南相馬市（ジブチ、台湾、米国、韓国）、伊達市（ガイアナ共和国）、本宮市（英国）、北塩原村（台湾）、檜葉町・広野町・川俣町（アルゼンチン）、飯舘村（ラオス）

※赤字は前回会議以降の登録

【連携した取組】台湾でのイベント出展によるPR

- 台湾の復興ありがとうホストタウンである岩手県大槌町、野田村、福島県南相馬市、北塩原村が、台湾で開催された漫画やアニメのイベント「第8回台北国際動漫節（2020年1月31日～2月4日）」に出展。
- 「復興ありがとうホストタウン大使」であるポケモンにも協力してもらい、台湾の方々に対し復興支援への感謝を直接伝えるとともに、それぞれのまちの魅力や「復興オリパラ」「復興ありがとうホストタウン」についてPRした。
- イベントには5日間で計約40万人が来場。復興ありがとうホストタウンブースにも多くの来場者があり、訪問の様子をSNSで発信してもらおうなどして多くの方への周知を図った。



復興ありがとうホストタウンブース



ブースでの写真撮影



ポケモンとの写真撮影



台湾選手への応援メッセージ



ステージイベント

オンラインでのホストタウン交流の事例

- 2020年1月、岩沼小学校（宮城県岩沼市）の6年生23人と、クロフォード校（南アフリカ）の生徒26人がインターネット電話で交流。互いに相手国の国歌を披露したほか、自分たちのまちと学校を紹介。岩沼小の児童からは、震災時に行方不明者の捜索をしてくれた南アフリカの救助隊に対する謝意も伝えられた。
- 2020年7月、大槌高校（岩手県大槌町）にて、JICAサウジアラビア駐在員を招き、同校生徒向けのサウジアラビア講演会を開催。終了後には、参加者と橋本オリパラ大臣がオンラインで交流に関する意見交換を行った。
- 2020年8月、岩手県花巻市の関係者と米国の姉妹都市（ホットスプリングス市）関係者がオンラインで交流。花巻市出身の宮沢賢治の作品をモチーフにしたマスクを送付する取組や継続した交流に向けて意見交換を行った。

～岩沼小学校とクロフォード校の交流～



画面越しに復興支援への謝意を伝達



南アフリカ側からも大勢が参加

～大槌高校生徒と橋本大臣の意見交換～



生徒より橋本大臣へ質問



岩手県立大槌高校

橋本聖子東京オリンピック・パラリンピック担当...

～花巻市とホットスプリングス市の交流～



日本郵便によるホストタウンの取組との連携

- 2019年6月の第3回ホストタウン首長会議にて日本郵便より発表された「ホストタウンフレーム切手」は、43件（うち復興ありがとうホストタウン3件）が発行。（その他複数のホストタウンでも作成中）
- 同日に発表された「ホストタウン相手国・地域へお手紙を送ろう」の取組は、98自治体348校（うち復興ありがとうホストタウン1自治体1校）で実施。
※2020年6月末時点

ホストタウンフレーム切手
「福島県飯舘村×ラオス」



飯舘村 × ラオス人民民主共和国
ホストタウン フレーム切手

ラオスってどんな国？ラオスは、東南アジアのインドシナ半島に位置し、日本の本州とほぼ同じ広域を持っている内陸国です。ラオス国内において、約100kmにわたってモンク川が流れており、自然豊かな国となっています。飯舘村とは平成21年から始まった「ラオスに学校を贈る」までいプロジェクトがきっかけで交流がスタートし、平成29年に「復興ありがとうホストタウン」に登録されました。



○ 写真撮影はご自身で、切手としてご利用いただけます。
○ 郵政省の許可を得た上でのご利用をお願いいたします。写真撮影に際しては許可が得られることが前提です。

ホストタウンフレーム切手
「岩手県釜石市×オーストラリア」



釜石市 × オーストラリア連邦
復興「ありがとう」ホストタウン記念 フレーム切手

釜石市は、2017年11月17日に、オーストラリア連邦を相手国として「復興「ありがとう」ホストタウン」に登録され、青少年を中心に継続的に交流を行ってまいります。



○ 写真撮影はご自身で、切手としてご利用いただけます。
○ 郵政省の許可を得た上でのご利用をお願いいたします。写真撮影に際しては許可が得られることが前提です。

福島県広野町の中学生から
アルゼンチン選手へ送られた手紙



ホストタウンに関する情報発信の強化

- 2020年7月、ホストタウン情報発信WEBサイト「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」を開設。全国のホストタウンの情報が検索できるほか、日本人アスリート・海外アスリートからのメッセージ動画も掲載。今後、各ホストタウンからの活動予告・報告の機能やホストタウンからの応援メッセージ動画も追加予定。
- 2020年8月、復興ありがとうホストタウン連絡協議会のInstagramアカウントを開設。各自治体から、復興ありがとうホストタウンになった経緯やまちの魅力等を紹介。

ホストタウン情報発信WEBサイト 「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」



復興ありがとうホストタウン連絡協議会 Instagramアカウント

